

京都府 セーフコミュニティ ニュース

～地域力による安心・安全なまちづくりを目指して～

第 4 号(平成21年9月9日発行)

京都府府民生活部
安心・安全まちづくり推進課
TEL075-414-4367 FAX075-414-4255
E-mail:anshinmachi@pref.kyoto.lg.jp

9月は「高齢者の交通事故をなくそう府民運動強化月間」です

京都府交通対策協議会（会長：京都府知事）では、高齢者に交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけるとともに、運転者には、高齢者を思いやる運転意識の定着と高齢運転者の運転適性に応じた運転を心がけていただくため、9月1日（火）から30日（水）までの1箇月間を「高齢者の交通事故をなくそう府民運動強化月間」と定めています。

- 横断歩道がないところでの高齢者の交通事故が多発。
遠回りでも、横断歩道や信号機のあるところを渡りましょう。
- 夜間でかけるときは、反射材の着用が有効。
暗くなったら、明るい色の服装や反射材の着用を心がけましょう。
- 高齢運転者の前方不注意や見落としによる交通事故が多発。
運転中は、常に「目配り・気配り」運転を実施しましょう。



秋の全国交通安全運動がはじまります

9月21日（月）から30日（水）までは、「秋の全国交通安全運動」が、「秋の空 さわやかマナーで 事故防止」をスローガンに行われます。

○運動の基本「高齢者の交通事故防止」

- ・夕暮れ時や夜間の外出時は、明るい色の服装や反射材を身につけるなどしましょう！
- ・全ての座席でシートベルトの着用を徹底しましょう！
- ・飲酒運転は絶対にはいけません！

平成21年府内交通事故死者数
(H21.8末)



「府民防犯の日・旬間」の取組ありがとうございました

7月10日（金）から20日（月）まで、府内各地で広域振興局、教育局、警察署、市町村、防犯団体等との協働により、街頭啓発活動が実施されました。

また、今年度は、「小さな犯罪の芽を摘むことにより大きな犯罪を抑止する」ことを目的とした落書き消しや張り紙撤去等の「割れ窓理論」実践運動を、自治会やPTAなど地域の方々や、府民防犯ステーションの活動団体との協働により、京都市や向日市の計6箇所で開催し、府職員ボランティアも含む計145人の方に参加いただき、地域の安心・安全なまちづくりの取組を進めました。

◎御協力いただいた団体

向陽小学校PTAボランティアサークル「こうよう応援隊」、生祥自治連合会、日彰自治連合会、右京防犯推進員協議会葛野支部（西五条府民協働防犯ステーション）、稲荷自主防犯安心・安全まちづくり協議会（稲荷あんしん・あんぜんステーション）、春日安心安全推進委員会（荒神口あんしん・あんぜんステーション）など



街頭啓発の様子



落書き消しの様子



8月28日（土）、青森県十和田市が、世界で159番目、日本で2番目のセーフコミュニティに認証されました。

このほか、神奈川県厚木市や横浜市栄区がセーフコミュニティに取り組むなど、セーフコミュニティのネットワークが広がっています。